

資源がめぐる真ん中に。

DOWA

証券コード：5714



第**122**期 報告書 〰 株主のみなさまへ

BUSINESS REPORT

2025/7/Vol.69



2024年度（2025年3月期） 連結経営成績について

代表取締役
社長執行役員 CEO 関口 明

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、2024年度（2025年3月期）における当社グループの事業の状況と経営成績をご報告申し上げます。

自動車の生産が低調であったことから、当社の自動車関連製品及びサービスの受注は減少しました。情報通信関連製品の販売は堅調に推移しました。また、新エネルギー関連製品の販売は第2四半期以降、調整局面が継続しています。環境・リサイクル関連サービスは廃棄物処理の受注が堅調でした。相場環境につきましては、前期と比較して平均為替レートは円安ドル高となりました。また、金、銀、銅及び亜鉛の平均価格は上昇しました。電力代等のエネルギーコストは前期

と比較して減少しました。

これらの結果、当期の連結売上高は前期比5.4%減の6,786億円、連結営業利益は同7.4%増の322億円、連結経常利益は同2.6%減の435億円となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は同2.6%減の271億円となりました。

当期の年間配当については、前期から減益となったものの、安定配当と株主還元の拡充を前提とする方針のもと、1株当たり150円としました。

当グループは、今後も企業価値のさらなる向上に取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

2024年度

売上高

6,786億円

(前期比 Δ 5.4%)

営業利益

322億円

(前期比 +7.4%)

経常利益

435億円

(前期比 Δ 2.6%)

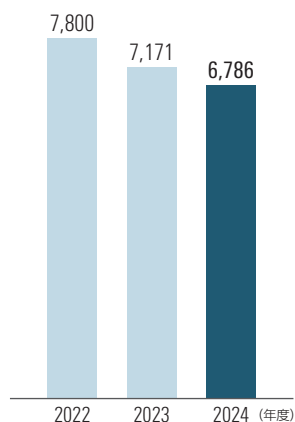
親会社株主に帰属する当期純利益

271億円

(前期比 Δ 2.6%)

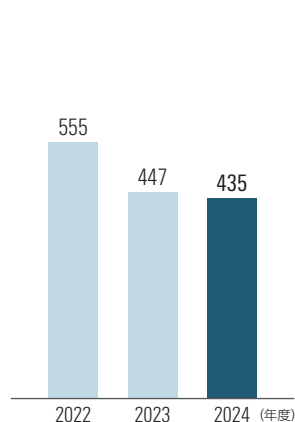
売上高

(単位：億円)



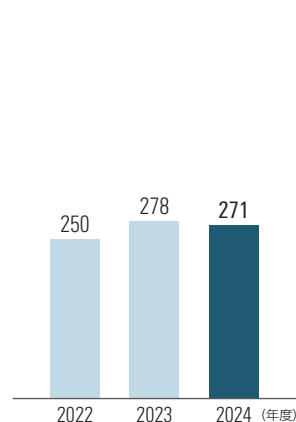
経常利益

(単位：億円)



親会社株主に帰属する
当期純利益

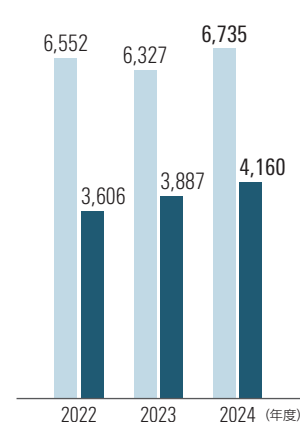
(単位：億円)



総資産／純資産

■総資産 ■純資産

(単位：億円)



循環のクオリティを追求する。

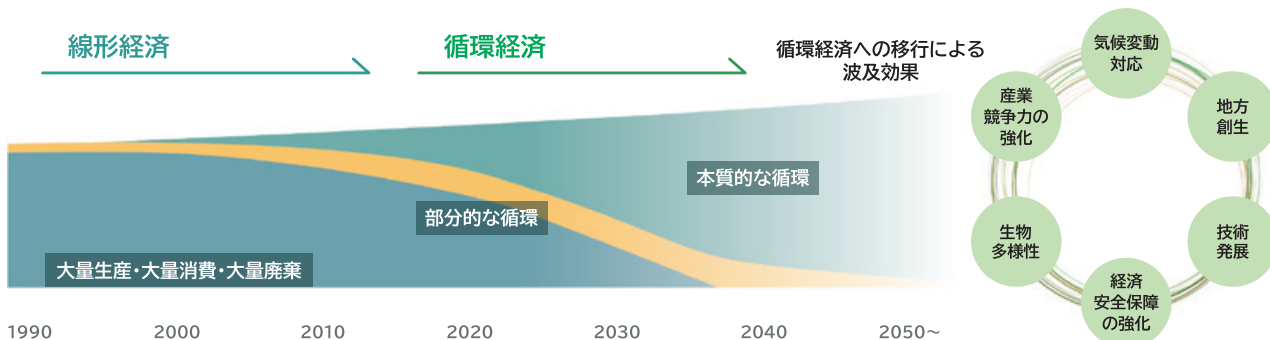
中期計画2027について

当社は2025年5月に、2025～2027年度の3年間を対象とする「中期計画2027」を公表しました。

「中期計画2027」では、「循環のクオリティを追求する。」をメインテーマとし、当社独自の循環型ビジネスモデルの強みを活かしながら、本質的な循環を目指していきます。

● 循環経済への転換

近年、日本は大量生産・大量消費・大量廃棄型の「線形経済（リニアエコノミー）」から「循環経済（サーキュラーエコノミー）」への転換を目指しています。循環経済とは、あらゆる段階で資源を効率的かつ循環的に利用し、ストックを有効に活用しながら、サービス化などを通じて付加価値の最大化を図る経済モデルのことです。今後、その実現に向けて、さらに環境を守り、限りある資源を有効に活用しながら、経済を発展させていくことが必要となります。



● DOWAが目指す本質的な循環

DOWAグループは5つの事業領域を組み合わせた独自の「循環型ビジネスモデル」を構築しており、循環経済への転換はグループにとって大きな追い風となります。複合的かつ長期的である本質的な循環の実現に向けて、140年にわたり積み上げてきた技術に基づく「循環型ビジネスモデル」をドライバーとして、クオリティの高い循環を追求します。循環のクオリティを追求し続けることにより、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、企業価値のさらなる向上を図っていきます。

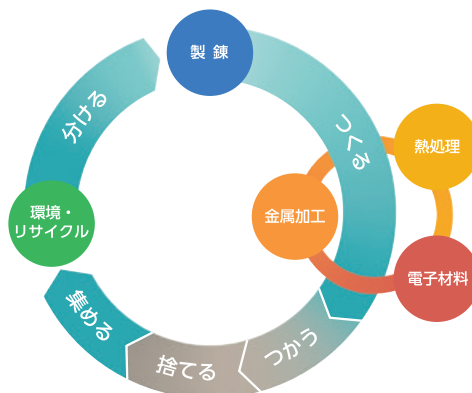
◎ 循環経済を実現する循環型ビジネスモデル

DOWAグループの「循環型ビジネスモデル」は、循環経済の実現に欠かせない様々な役割を果たしています。

世界中からリサイクル資源を集めるネットワークを保有し、多種多様な金属として再び世の中に送り出すとともに、リサイクルできない廃棄物を適正に処理し環境負荷の低減を図っています。また、世界を変える技術革新に貢献する素材の生産や、製品の寿命を伸ばす技術・サービスを提供しています。

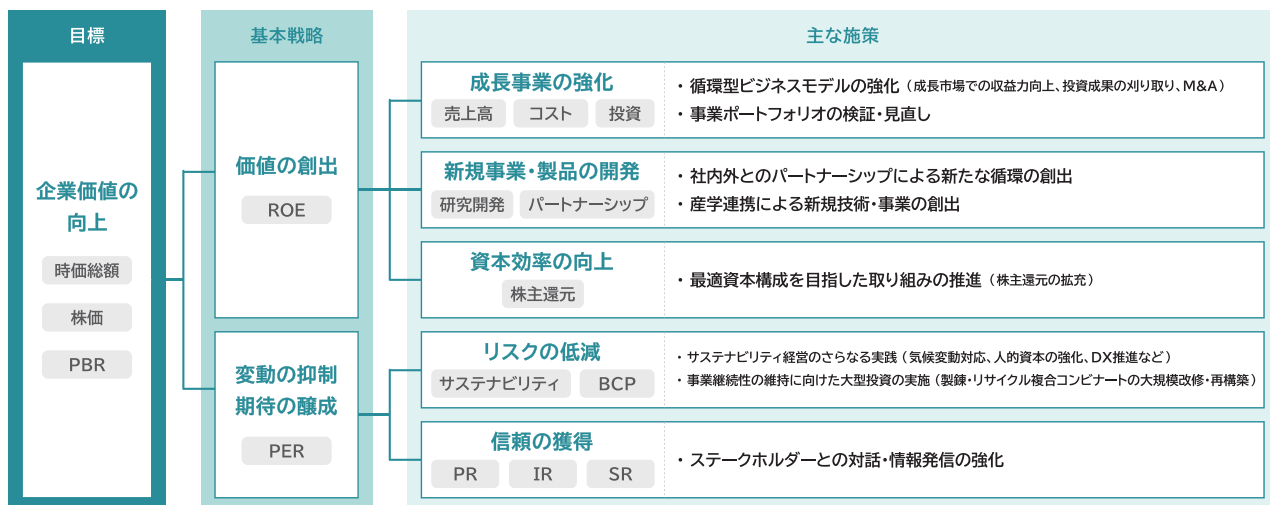
循環型ビジネスモデルを通じた社外との連携により新たな価値を創出することで、循環のクオリティを追求し、本質的な循環を実現します。

循環型ビジネスモデル



◎ 中期計画2027の基本戦略

「中期計画2027」においては、企業価値の向上に向けて、「価値の創出」・「変動の抑制・期待の醸成」を基本戦略とし、成長事業の強化、新規事業・製品の開発、資本効率の向上、リスクの低減などの施策を推進します。



● 数値目標

財務目標

「中期計画2027」の最終年度となる2027年度において、経常利益600億円、ROE10%を目指します。

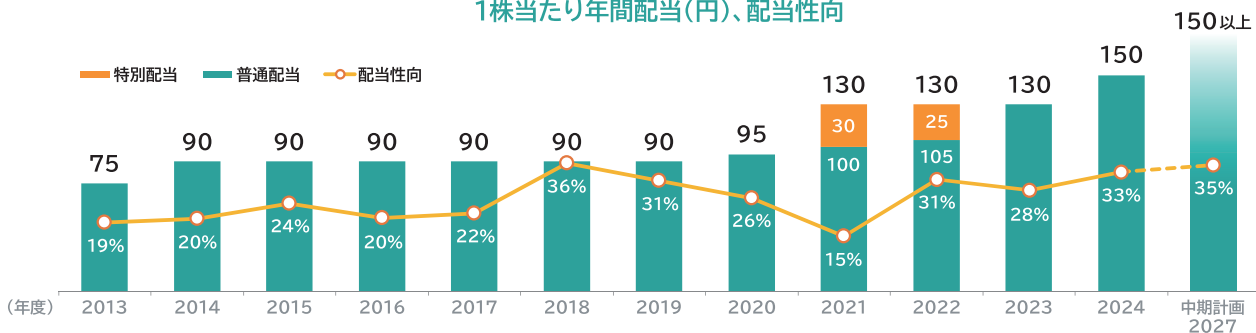
	2024年度実績	2025年度予想	2027年度目標
営業利益（億円）	322	240	470
経常利益（億円）	435	340	600
ROE（%）	7.0	-	10

株主還元

「中期計画2027」の資本政策は、事業から生み出す資金で資金需要を賄うことを基本とし、健全な財務基盤を前提に、事業投資による利益向上や段階的な株主還元の拡充を行うこととしています。本方針を踏まえ、「中期計画2027」の期間（2025～2027年度）の株主還元方針は、次のとおりとしました。

株主還元方針	配当	配当性向 35% または 1株当たり150円 のいずれか高いほう
	自己株式取得	将来の資金需要や財政状態などを踏まえて、自己株式取得も検討する

1株当たり年間配当(円)、配当性向



リサイクルという言葉が使われるようになって数十年、部分的な循環だけを追求する時代は終わりました。これからは環境を守り、限りある資源を有効に活用しながら、経済を発展させることが求められます。だからこそDOWAは、本質的な循環を目指します。

世界が、日本が、循環経済への転換を目指す今だからこそ、140年にわたり、積み上げてきた技術を結集し、循環のクオリティ向上を追求しつづけます。

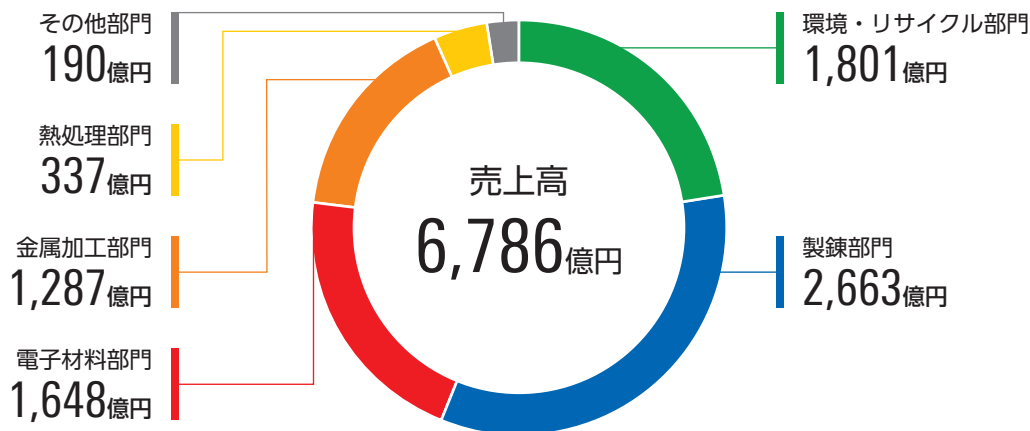


↑
中期計画2027の
資料はこちらから

部門別の営業状況

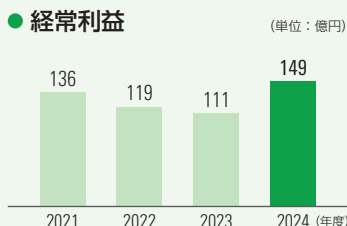
部門別連結売上高構成 (2024年度)

※各部門の売上高には、連結調整による消去分1,143億円を含んでいます。



※億円未満切り捨て

環境・リサイクル部門



2024年度

● 売上高
1,801億円 (前期比 +19.8%)

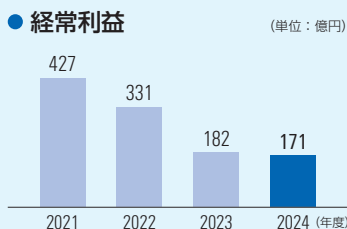
● 経常利益
149億円 (前期比 +33.9%)



焼却処理プラント

廃棄物処理事業では焼却の処理量及び処理単価は堅調に推移しました。また、溶融・再資源化の処理量は増加しました。土壌浄化事業では土壌浄化の受注が堅調に推移しました。また、不燃性廃棄物の再資源化の処理量は増加しました。リサイクル事業では当社製錬所向けのリサイクル原料の集荷量は増加し、家電リサイクルの処理量は減少しました。また、平均為替レートが前期比で円安ドル高となり、金、銀及び銅の平均価格が上昇したことが業績に寄与しました。東南アジア事業では廃棄物処理の受注が増加しました。

製錬部門



2024年度

● 売上高
2,663億円 (前期比 △16.2%)

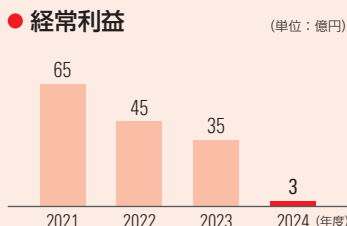
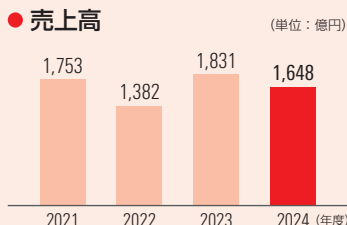
● 経常利益
171億円 (前期比 △5.8%)



新設した亜鉛工場の設備

貴金属銅事業では金、銀及び銅の生産量は減少しました。PGM（白金族金属）事業では白金族金属価格低迷の影響を受け、使用済み自動車排ガス浄化触媒の集荷量が減少しました。亜鉛事業では亜鉛の生産量は減少しました。また、電力代等のエネルギーコストは減少しました。加えて、ヘッジコストが改善しました。一方で、亜鉛の棚卸資産の簿価切下げによる損失幅は拡大しました。製錬部門全体では、平均為替レートが前期比で円安ドル高となり、金、銀、銅及び亜鉛の平均価格が上昇したことが業績に寄与しました。営業外損益では海外鉱山にかかる収益は減少しました。

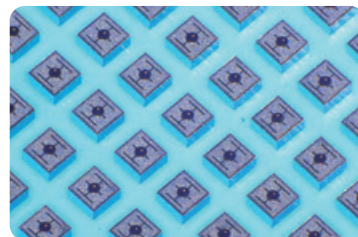
電子材料部門



2024年度

● 売上高
1,648億円 (前期比 △10.0%)

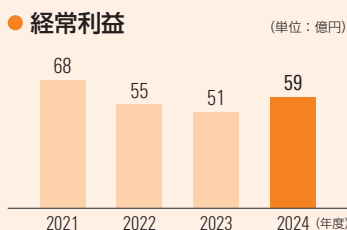
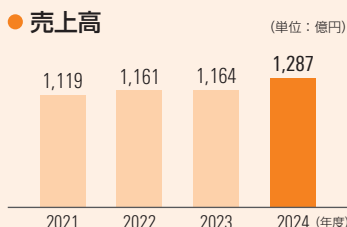
● 経常利益
3億円 (前期比 △91.2%)



近赤外LED

半導体事業ではウェアラブル機器向け近赤外LED及び受光素子（PD）の販売は低調に推移しました。電子材料事業では太陽光パネル向けの需要が第2四半期以降、調整局面となったことに加え、競合他社との競争激化により、銀粉の販売は減少しました。一方で、半導体事業と電子材料事業では、平均為替レートが前期比で円安ドル高となったことが業績に寄与しました。機能材料事業では磁性粉の販売が低調に推移しました。営業外損益ではサンプル収入が減少しました。

金属加工部門



2024年度

● 売上高
1,287億円 (前期比 +10.6%)

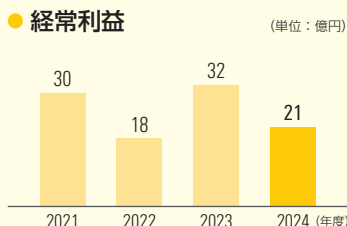
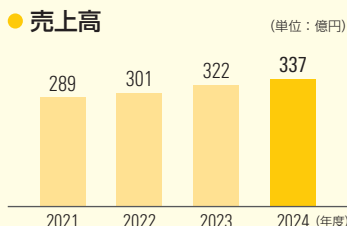
● 経常利益
59億円 (前期比 +14.5%)



伸鋼品の製造工程

伸鋼品事業では自動車の生産が低調であったことから、自動車関連製品の販売は前期を下回りました。情報通信関連製品の販売は増加しました。また、銅の価格が第1四半期末にかけて上昇したことが業績に寄与しました。めっき事業では自動車向けの需要が低調に推移しました。回路基板事業では原材料費等が上昇しました。

熱処理部門



2024年度

● 売上高
337億円 (前期比 +4.8%)

● 経常利益
21億円 (前期比 △31.8%)



CO₂排出を減らした次世代熱処理炉

熱処理事業では国内の自動車生産が低調であったことから、熱処理受託加工の受注は減少しました。また、販売費及び一般管理費等のコストが増加しました。加えて、前期比で一時金収入が減少しました。工業炉事業ではメンテナンスの受注が増加しました。営業外損益では、為替相場が連結会計年度末にかけて円高に推移したことを受けて、為替評価損を計上しました。

当社は執行役員制度を採用するとともに、各事業会社の代表者を執行役員として選任することにより、業務執行における意思決定の迅速化と経営の効率化を図っています。目まぐるしく変化する経営環境において、DOWAホールディングスの業務執行機能を明確にすることで、より機動的かつタイムリーな意思決定を行うことを目的として、役員体制を以下のとおりに変更しました。

取締役

代表取締役	関口 明
取締役	飛田 実
取締役	菅原 章
取締役	片桐 敦
取締役	細野 浩之
社外取締役	小泉 淑子
社外取締役	佐藤 公生
社外取締役	柴山 敦
社外取締役	山口 純子

監査役

監査役 (常勤)	木村 鋭
監査役 (常勤)	堤 あづさ
監査役 (非常勤)	大庭 浩一郎
監査役 (非常勤)	小室 真吾

執行役員

社長執行役員 CEO	関口 明
副社長執行役員 CIRO	菅原 章
循環ビジネス革新 品質保証部、環境・安全部担当	飛田 実
常務執行役員 CHRO	人事部、総務・法務部担当
	片桐 敦
執行役員	
DOWAエコシステム (株) 代表取締役社長	矢内 康晴
執行役員	
DOWAエレクトロニクス (株) 代表取締役社長	鈴木 健彦
執行役員	
DOWAサーモテック (株) 代表取締役社長	加川 康樹
執行役員	
DOWAマネジメントサービス (株) 代表取締役社長	総務・法務部長、秘書室長
	若林 英一
常務執行役員 CTO	事業開発部、知財部担当
	菅原 章
常務執行役員 CFO	経営企画部、経理部、財務部担当
	細野 浩之
執行役員	
DOWAメタルマイン (株) 代表取締役社長	福田 健作
執行役員	
DOWAメタルテック (株) 代表取締役社長	鬼王 孝志
執行役員	
DOWAテクノロジー (株) 代表取締役社長	DX推進部担当
	猪股 寛成

会社概要

創業	1884年9月18日
設立	1937年3月11日
資本金	364億37百万円
DOWAグループの社員数	約8,000人
主な事業内容	環境・リサイクル事業 製錬事業 電子材料事業 金属加工事業 熱処理事業

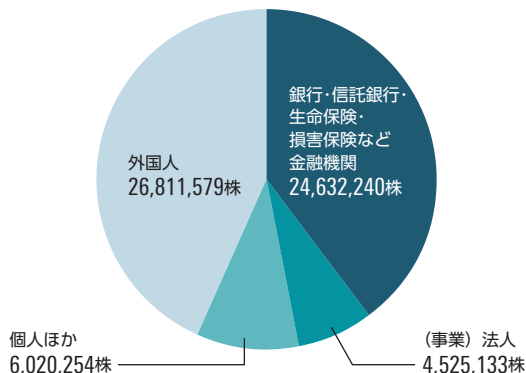
株式の状況

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済み株式の総数	61,989,206株
株主数	9,668名

主要子会社

DOWAエコシステム (株)	環境・リサイクル事業会社
DOWAメタルマイン (株)	製錬事業会社
DOWAエレクトロニクス (株)	電子材料事業会社
DOWAメタルテック (株)	金属加工事業会社
DOWAサーモテック (株)	熱処理事業会社
DOWAテクノロジー (株)	技術サポート会社
DOWAマネジメントサービス (株)	事務サポート会社

所有者別株式分布状況



大株主

	持分比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	15.83%
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	9.83%
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	6.58%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	5.37%
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	3.93%
藤田観光株式会社	3.12%
全国共済農業協同組合連合会	2.81%
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE NON TREATY CLIENTS ACCOUNT	2.62%
BNP PARIBAS FINANCIAL MARKETS	2.16%
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE IEDU UCITS CLIENTS NON LENDING 15 PCT TREATY ACCOUNT	1.78%

当社は自己株式1,842千株を保有しており、持分比率については自己株式を控除しています。

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
基準日	3月31日 その他必要あるときは、あらかじめ公告した日
期末配当金支払株主確定日	3月31日
公告方法	電子公告 (https://hd.dowa.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く)
株式に関するお手続き よくあるご質問	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/ https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal QRコードからもアクセスいただけます。 (「QRコード」は、(株)デンソーウェブの登録商標です。)



DOWAホールディングス株式会社

〒101-0021

東京都千代田区外神田四丁目14番1号 秋葉原UDX22階

電話番号 03-6847-1100

ホームページアドレス <https://hd.dowa.co.jp/>

表紙撮影場所 小坂製錬(株)

